

繭からはじまる

絹糸道場

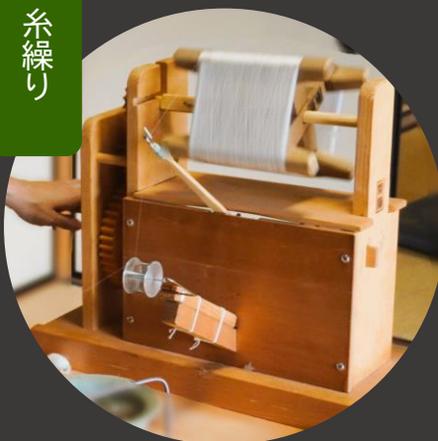
繭から糸への道をたどりま

昔から人が身にまとってきた自然素材の絹。
軽くて柔らかくて美しく、健康にも優しく、どのような色にも
綺麗に染まる自然の恵みです。
絹はお蚕さんの繭からどうやってつくるのでしょうか。
長年、絹糸づくりにたずさわってきた講師と一緒に、
人の知恵や歴史、文化をたどりながら、座繰り器を回して
ご自分の手で絹糸づくりをしてみませんか。

繭を糸に



糸繰り



生糸を絹糸に



2日間で、繭から生糸、そして絹糸になるまでの道すじを丁寧にたどりま。
徐々に姿を変えていく様子確かめなら、一連の手仕事を楽しんで体得していただける内容です。

- *日 時： 令和6年7月6日(土)~7月7日(日)の2日間
両日とも10:00~16:00
- *料 金： 20,000円(2日間) ※一日だけの参加は受け付けておりません
・お昼ごはん含む
つくった絹糸はお持ち帰りいただけます
- *定 員： 先着6名
- *持ち物： 握りバサミ、濡れてもよい格好、タオル、筆記用具
- *会 場： 愛知県常滑市大谷字鴨116 リーフボイス
- *お申し込み・お問い合わせ QRコードを読み取り、フォームから。
または、季の野の台所 (090-5862-8655 森川美保)まで
※7月1日以降のキャンセルは、参加費の50%を頂きます



この活動は、日本生活体験学習学会との共催(地方セミナー)で実施します。



【講師】林 久美子氏

シルクライン代表
シルクキュレーター。

岡谷蚕糸博物館で養蚕・製糸・染織の
技術指導や実演などの普及活動に約
20年かかわり2022年独立。シルクの
文化・歴史・技術と想いをつないでいま
す。日本シルク学会賞・大日本蚕糸会
蚕糸功労賞受賞

「絹糸道場」では、長い歴史の中でつちかわれ、暮らしの中で生き続け、伝承されて来た、繭から絹糸になるまでの道を、一緒に、わかりやすく、楽しみながらたどる場になればと願っています。
絹糸づくりの技術と文化をぜひ体感してください。

講座内容

7月6日 【1日目】

午前

◆繭・生糸・絹

お蚕さんのつくる繭の構造や生糸づくりの原理を、歴史や文化を織り交ぜながら学びます。生糸と絹糸の違いを体感して絹糸道場が始まります。

◆煮繭(しゃけん)

糸にするための繭の煮方を学びます。

◆糸結び

生糸づくりのいろはの「い」は糸結びです。
生糸の糸結びを練習して糸づくりを始めましょう

* 季の野の台所特製発酵調味料で作ったお昼ごはん *

参加者のみなさんや講師と一緒にシルク談義

午後

◆生糸づくり

座繰り器を自分で回しながら生糸づくり。繭の粒数や、糸の太さなどを見ながら、繭糸を加える作業も行います。ここが生糸づくりの大事な技術、ポイントです。
小枠に自分の生糸を繰りとり1日目終了!



7月7日 【2日目】

午前

◆揚返し

1日目に座繰り器で小枠に巻いた生糸を、糸総(かせ)にするために、揚返しを行います。糸の始まりと終わりの糸留め、糸がバラバラにならないための編組(あみそ)がけも学びます。

* 季の野の台所特製発酵調味料で作ったお昼ごはん *

シルク談義に花を咲かせましょう



午後

◆精練して仕上げ

生糸を、柔らかく光沢のある絹糸にする精練作業を経て、繭からはじまった絹糸に、たどり着きます。
どうぞ、お手にとってお持ち帰り下さい。